



日本福音主義神学会 西部部会 春期研究会

日時:2005年4月25日 10:00-16:00

場所:神戸ルーテル神学校

午前:研究発表 募集中

午後:主題講演 渡辺 睦夫 先生 (講演テーマ・内容は後日案内します。)

●主題について

□2005年度秋に、「クリスチャン・スピリチュアリティ」のテーマで、全国研究会が開催されます。このテーマは、既知の事柄であると共に同時につかみどころのない主題でもあります。

□全国研究会の案内では、「霊性を求める現代と教会」「福音主義神学における霊性の問題意識」についての記述があります。そして最後に「福音主義神学会は、さまざまな教派とその霊的伝統の幅広さをもっています…、『霊性』『霊的』と私たちが日頃理解している事柄をより多面的に捉え、焦点を明確にしながらも、歪みを矯正し、裾野を広げる」ことへの期待が表明されています。今回の西部部会の研究会が、全国研究会議へのひとつのイントロダクションとなることができたら幸いと思います。

□なお、午後の講演等は、コーディネーターの相談と講演者の渡辺師等のご好意により、試験的にインターネット上においても、ビデオ映像にて公開される予定になっています。長年の課題となってきました西部部会の遠隔地の会員へのサービスとともに、全国の会員の方々にも視聴していただけたら、全国研究会への良い地ならしにもなるのではないかと思います。

●主題講演講師紹介

□下記のもは、渡辺師のホームページに掲載されています自己紹介です。渡辺師は、今年の全国研究会議でも、歴史神学からの講演者として奉仕されます。著書、翻訳書、研究活動につきましては、渡辺師のホームページをご覧ください。渡辺先生は、今回のテーマにそって、御自身のこれまでの取り組みも含めて講演していただきます。<http://church.jp/wordansp/>

●渡辺 睦夫 先生

□岐阜県揖斐川町出身、1952年生まれ。17才の時に揖斐川町七間町キリスト教会(現在、日本福音キリスト教会連合:揖斐キリスト教会)で受洗する。

□現在、愛知県岩倉市にある岩倉キリスト教会(同盟福音キリスト教会)牧師である。また、東海聖書神学塾で新約釈義、ギリシャ語中級、聖霊論のクラスを担当している。家族には妻と四人の子供(うち一人は召天)がいる。

□東洋大学、聖書神学舎、リジェントカレッジ(神学修士)、トリニティー国際大学(牧会学博士)で学ぶと共に、1977年より揖斐・北方キリスト教会(岐阜県)、1989年よりMegumi Baptist Church(カナダ:バンクーバー)で牧師として奉仕し、1995年に岩倉キリスト教会の牧会を始めている。「ワーダン・スピリットの会」主宰。

□リジェントカレッジでは、J.I.Packer博士の下で聖霊論などについて学び(卒論は、現代の預言運動について)、トリニティー大学では教会刷新論などの学びと共に、日本のJEAとNRAの今後のあり方に関する論文(Interpreting the Book of Acts の翻訳と合わせて)を書いた。